

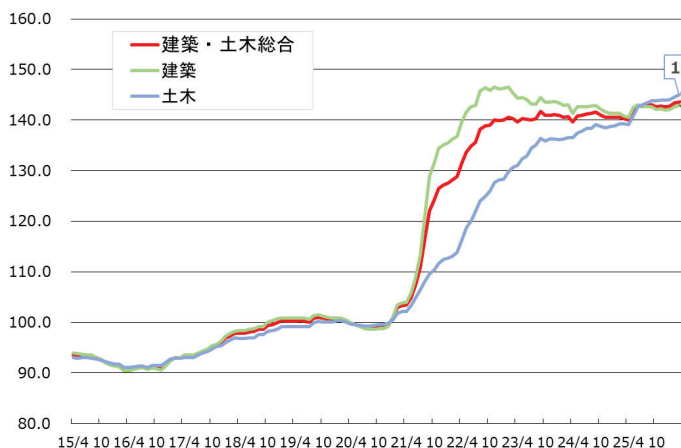
積算資料 建設資材価格指数

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2026年3月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	143.6	+0.2	+3.3
建築	142.9	+0.2	+2.1
土木	145.0	+0.4	+5.7

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+12.4仙台●コンクリート二次製品：+5.6那覇、+5.0仙台、+0.7札幌●骨材：+11.1高松、+9.8広島●瀝青材：+2.9仙台、+2.6札幌、+2.5新潟・高松、+2.4広島、+2.3福岡、+2.2名古屋、+2.0大阪、+1.7那覇、+1.6東京●普通鋼鋼材：+1.0名古屋、+0.7福岡、+0.5仙台・大阪	
建築	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+12.2仙台●コンクリート二次製品：+3.1那覇、+0.4札幌●骨材：+11.0高松、+9.9広島●普通鋼鋼材：+1.1名古屋、+0.9福岡、+0.7大阪、+0.4仙台	
土木	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+12.6仙台●コンクリート二次製品：+10.5仙台、+9.7那覇、+1.2札幌●骨材：+11.1高松、+9.7広島●瀝青材：+6.1東京・名古屋・大阪・広島、+5.9仙台・福岡、+5.7新潟・高松、+5.5札幌、+4.5那覇●普通鋼鋼材：+0.7名古屋、+0.6仙台、+0.2福岡、+0.1大阪	

指数集計対象資材の市況

3月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比0.2ポイント上昇した143.6となり、2カ月連続で最高値を更新した。建築指数は前月比0.2ポイント、土木指数は同0.4ポイントと、いずれも上昇となっている。仙台地区の生コンクリートをはじめ、各地区の骨材やコンクリート二次製品などの価格上昇が指数の上昇につながった。また、対象資材の市況に下落がなく、指数を下押しする要因がなかったことも上昇を下支えしたと言えるだろう。調査時点では中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰が反映されていない。輸送用燃料である軽油などの先高観が強まる中、市況は一段高の展開も見込まれる。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212